平成31年洞爺湖町教育委員会第2回定例会会議録

日 時	平成31年3月20日（水） 14：30より
場 所	役場第1委員会室
出席委員	教育長 遠藤 秀 男 委員 岩 原 義 美 委員 吉 田 聡 委員 来 栖 由 喜 委員 岡 本 里 佳
欠席委員	
説明員	教育次長 天 野 英 樹 社会教育課長 永 井 宗 雄 社会教育課主幹 角 田 隆 志
会議録調整者	管理課主幹 佐 藤 融
傍聴者	無し
日程第1 【開会宣言】	遠藤教育長 開会を宣言する。（14：30）
日程第2 【前回会議録の承認】	遠藤教育長 各教育委員の署名により、承認を確認。
日程第3 【教育長諸般の報告】	遠藤教育長 2／18 定例教頭会（役場会議室） 2／26 町文化振興基金運営委員会（役場会議室） 3／ 1 虻田高等学校卒業式（同校） 3／ 5～13 町議会3月会議（議場） 3／ 7 臨時校長会（役場会議室） 3／10 ふれ合う心の文化広場（洞爺湖文化センター） 3／12 洞爺中学校卒業式（同校、来栖委員） 3／13 虻田中学校卒業式（同校、吉田委員） 3／15 町文化財運営審議会（役場会議室） 3／18 非核平和の町宣言10周年記念講演会（あぶたふれ合いセンター） 町育英資金運営委員会（役場会議室） 3／20 虻田小学校卒業式（同校、岩原委員）

洞爺湖温泉小学校卒業式（同校、岡本委員）
とうや小学校卒業式（同校）

日 程 第 4
【 報 告 事 項 】
・ 報告第5号

遠藤教育長

日程第4、報告事項に入ります。2ページになります。

報告第5号、臨時代理の報告について（洞爺湖町議会平成31年3月会議提出一般会計補正予算（第9号））を議題といたします。事務局からの報告を受けます。

天野教育次長

洞爺湖町教育委員会教育長に対する事務委任規則（平成18年洞爺湖町教育委員会規則第4号）第2条第1項の規定により、別紙のとおり臨時代理したので、同条第2項の規定によりこれを報告するものです。3ページは教育長から町長あての補正予算案に対し異議はない旨の通知文書です。4ページは、町長から教育長あての平成30年度虻田郡洞爺湖町一般会計補正予算（第9号）に対する意見を求める文書。それでは補正の内容です。6ページをお開きください。歳入です。14款、国庫支出金、1項、国庫負担金、1目、民生費国庫負担金で、補正額が190万4,000円の減額補正です。これは子どものための教育・保育給付費負担金の公定価格改定による減です。なお、左側のページに補正額とありますが、これは目ごとの数字で、他の課の補正額も含まれています。右側のページの節については、教育委員会分を抽出していますのでご理解ください。続きまして2項、国庫補助金、6目、教育費国庫補助金につきます。右側のページの1節、教育総務費補助金を9万円の減額補正です。これにつきましては、幼稚園就園奨励費補助金の対象者がいなかったことによる9万円の減額です。15款、道支出金、1項、道負担金、1目、民生費道負担金でございますが、右側のページの3節、児童福祉費負担金で231万9,000円の減額補正です。これは子どもための教育・保育給付費負担金の公定価格の改定による減です。続きまして、21款、町債、1項、町債、1目、民生債で、右側のページの節は、2節、保育所建替事業債で1,720万円の減額補正です。これにつきましては、洞爺保育所建て替え事業の入札執行残での減額補正です。歳入につきまして管理課は以上です。次に社会教育課に係る歳入補正予算の説明です。

永井社会教育課長

歳入の14款、国庫支出金、2項、国庫補助金、6目、教育費国庫補助金、右側のページの4節、社会教育費補助金でございますが、260万円3,000円の減額です。これにつきましては、高砂貝塚整備に伴う事業実績による補助金の減額補正です。15款、道支出金、2項、道補助金、5目、教育費道補助金、右側のページの1節、社会教育費補助金、189万1,000円の減額です。地域づくり総合交付金、130万円の減額は、高砂貝塚整備に伴う道補助金の事業実績による減額補正です。学校支援地域本部事業費補助金につきましては、59万1,000円の減額補正です。これにつきましては学校支援地

域本部事業、並びに地域未来塾の事業実施事業費の確定に伴います減額補正です。21款、町債、1項、町債、5目、教育債、右側のページの1節、文化財等保存整備事業債、230万円の減額補正です。これにつきましては高砂貝塚整備事業に伴う整備工事の入札執行残による減額補正です。2節、学校教育施設等整備事業債につきましては90万円の減で、虻田小学校グランド照明設置事業の入札執行残に伴う減額補正です。

天野教育次長

7ページの歳出です。3款民生費、4項、児童福祉費、1目、児童福祉総務費、右側のページの19節、負担金補助及び交付金で390万円の減額補正です。これにつきましては子ども・子育て支援事業で私立幼稚園施設型給付費負担金の公定価格の改定による減によるものです。5項、保育所費、2目、常設保育所費、1、636万7,000円の減額補正です。右側のページの4節、共済費は、嘱託職員の減による社会保険料等の10万円の減、7節、賃金はパート職員の増による231万8,000円の増、11節、需用費は、燃料費は単価の増によるもの、光熱水費は決算見込みによるもの、賄材料費も決算見込みによる増額補正です。11節、需用費全体で173万1,000円増です。12節、役務費は、手数料でございます。洞爺保育所のピアノの移動、移動に伴う調律による7万4,000円の増額補正です。15節、工事請負費につきましては、洞爺保育所の建て替え工事の入札執行残により2,039万円の減額補正です。10款、教育費、1項、教育総務費、2目、事務局費、33万1,000円の増額補正です。13節、委託料は、学校長寿命化計画策定委託料の執行残で28万円の減、25節、積立金は育英資金の基金積立金でふるさと納税の寄附による積立で61万1,000円の増額補正です。3目、諸費、463万2,000円の減額補正です。4節、共済費、28万円の減、7節、賃金、200万円の減は、支援員等の欠勤などによる減額補正です。8節、報償費は、胆振教育研究指定校報償金は、必要経費が足りていることによる減、室蘭青少年科学館出前講座報償金は、出前講座の実施がなかったことによる減、コミュニティスクール講師謝金は、虻田地区のスクールコミュニティースクール設置に伴い制度等のセミナーを、平成30年度に入る前の1月に、教育局から3名ほど来ていただいて、勉強したことによりまして、平成30年度に実施をしなくてもいいことになり、講師を派遣しなかったことによる減です。12節、英語・漢字検定手数料、70万円の減です。平成30年度に初めて英検漢字検定手数料を助成することで、町内の中学生全体の人数分を見込みましたが、英語検定は162名の予定のところ25名の受検、漢字検定は162名中35名の受検で、相当受検した生徒数が少なかったことによるもので、宣伝や周知の仕方不足していたのかもしれませんが、来年度も引き続き学校へ働きかけをして生徒たちに受検してもらえたらと思います。19節、負担金補助及び交付金は、洞爺地区等通学費等助成金で、対象者が29名から25名となり、4名減による減額補正です。私立幼稚園就園奨励費補助金は申請者がなかったことによる減額補正です、説明の中の、4、小中学校スクールバス等運行事業につき

ましては、11節、修繕料で、洞爺の岩屋地区の児童生徒の送迎に利用していた車について、対象の児童生徒がいなくなりましたことや、車も古くなったことから廃車による修繕費の減、13節、委託料、スクールバス運行委託料につきましては、道南バスへ大型バスの修繕の委託金額50万円の減です。次のページ8ページにまいります。2項、小学校費、1目、小学校管理費、740万円の減額補正です。右側のページの小学校管理事業、11節、需用費、光熱水費は実績見込みによる47万円の増額補正、14節、使用料及び賃借料、自動車借上料及びコピー機等事務機器借上料も実績見込みによる減額補正です。18節、備品購入費のうち暖房機購入は洞爺小学校体育館の暖房機を平成31年度に繰り延べて執行することにするための減額補正、教師用パソコン購入につきましては、先生達が利用する教師用パソコンの入札執行残で207万円の減額補正、合計で767万円の減額補正です。3項、中学校費、1目、中学校管理費で65万円の減額補正です。11節、需用費は、光熱水費が決算見込みにより65万円の増額補正、15節、工事請負費につきましては、虻田中学校の暖房機設置工事の工事執行残による50万円の減額補正。18節、備品購入費につきましては、教師用パソコンの入札執行残により80万円の減額補正です。2目、教育振興費で9万円の減額補正です。9節、旅費で53万円の減額補正で、これにつきましては、JET外国青年招致事業で、ALTのステファニーさんの帰国による旅費の執行残で53万円、20節、扶助費、中学校就学援助事業、44万円の増額につきましては、新入学生の学用品費について決算見込みによる44万円の増額補正です。続きまして、4項、社会教育費になります。

永井社会教育課長

4項、社会教育費、1目、社会教育総務費、57万5,000円の減額補正です。右側のページの、7節、賃金、57万5,000円の減。これにつきましては社会教育課の育児休業職員が8月に復帰予定ということで、4月分から8月分までの賃金を計上していましたが、結果的に応募がなかったことによる事務補助員賃金の減額補正です。2目、社会教育奨励費につきましては、財源補正です。3目、社会教育施設費、97万6,000円の減額補正です。7節、賃金、学童保育運営事業の臨時職員賃金の150万円の減です。これにつきましては、保育所の土曜日開設の実数の減による減額補正です。11節、燃料費につきましては15万円の増で燃料費単価の増による補正でございます。2番の社会教育施設維持管理事業につきまして、18万円の増、これにつきましても、燃料単価の増による増額補正です。3番の洞爺総合センター管理事業、これは庶務課所管ですが燃料費単価の増による、19万4,000円の増です。5目、文化財費につきましては、745万円の減です。13節、委託料、49万6,000円の減です。これは高砂貝塚保存整備事業に伴う入江高砂貝塚館実施設計委託料などの入札執行残による減額補正です。15節の工事請負費につきましては248万2,000円の減です。高砂貝塚保存整備事業に伴う園路広場整備工事の入札執行残による減額補正です。次のページの10款、教育費、5項、保健体育費、2目、体育施設費につきましては20万円の減額補

正です。11節、需用費につきましては75万円の増で、1番の体育施設運営事業につきましては20万円の減、11節、燃料費につきましては75万円の増で、燃料費単価の増です。15節、工事請負費につきましては80万円の減で、虻田小学校グラウンド照明設置工事に伴う入札執行残による減額補正です。18節、備品購入費につきましては、15万円の減。これにつきましては、虻田体育館の2階格技場の柔道畳の購入による入札執行残による減です。

天野教育次長

3目、給食施設費、66万9,000円の増額補正です。右のページの、11節、需用費、虻田給食センター運営事業、ボイラーの蒸気配管の漏水修繕などによる66万9,000円の増額補正です。

永井社会教育課長

14款、災害復旧費 1項、その他公共施設・公用施設災害復旧事業、1目、その他公共施設・公用施設災害復旧事業で、補正額は167万8,000円の減額補正です。13節、委託料、洞爺地区学校プールの屋根のシーートの破損に伴う災害復旧費の入札執行残による156万3,000円の減です。以上です。

遠藤教育長

3月の議会に補正予算を提出していますが、3月は年度末ということで入札執行残や事業が確定して不用額等の減額、また電力等が不足する分の増額や、予定していた事業が今年度はできないので来年度に繰り延べするための減額の内容でございます。皆様から内容の確認等の質疑をお受けしたいと思っております。いかがでしょうか。

《「ありません」という人あり》

それでは、以上のとおり報告を受けたということで、ご了承をいただきました。

・報告第6号

続きまして、報告第6号、平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果概要について、事務局から報告を受けます。

天野教育次長

報告第6号です。平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果概要を次のとおり報告するものです。1、調査期日、平成30年4月から平成30年7月末までの期間で実施。2、調査の対象学年は、小学校第5学年と中学校第2学年です。3、調査方法、悉皆調査、調査開始が平成20年度 悉皆調査、平成20、21、25から30年度、抽出調査が平成22、24年度となっています。平成23年度は震災の影響の為、全国調査中止してしまして、北海道独自で調査となっています。4、調査の内容、(1)児童生徒に対する調査、①実技に関する調査。測定方法等は新体力テストと同様で握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20メートルシャトルラン、中学校は20メートルシャトルランに替えて持久走も可、50メートル走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、中学校はハンドボール投げです。②質問紙調査。(2)学校に対する質問紙調査、(3)教育委員会に対する質問紙調査の内容です。別紙を

ご覧ください。別紙の1枚目の表題を除き、文章に入り、3行目から説明します。全国の状況を見ると、小学校の実技調査では、8種目の体力点合計で女子が過去最高値となり、男子も過去最高値にほぼ並ぶ結果となっている。男女とも握力とソフトボール投げが低迷している。中学校は体力点合計が男女ともに過去最高点となっている。男子の握力とハンドボール投げが過去最低となっている。洞爺湖町の状況。全国、全道平均と比較。児童生徒数が少ないので経年変化での評価が難しい状況で、30年度は小学校5年男子が23名、女子24名、中学2年男子が36名、女子20名です。次に体格です。小学生の身長、男子137.06センチメートルで全国、全道より低く、T得点が47.0で、全国が50です。過去の数値で平成29年度は139.92センチメートルで、T得点が51.5でした。女子141.14センチメートルで全国、全道よりも高いです。平成29年度は140.02センチメートルの結果です。体重は男子31.73キログラムで全国、全道より軽く、T得点が46.6、平成29年度は36.44キログラムでした。女子36.55キログラム、全国、全道より重く、T得点が53.7、平成29年度は36.33キログラムでした。肥満傾向は、男子は8.7%が肥満傾向。高度肥満を示す数値の50%以上の児童生徒はなく、やせ過ぎもなしです。女子は、4.2%が肥満傾向で、高度肥満はなく、痩せ過ぎもなしです。中学生です。身長は男子160.31センチメートルで全国よりやや高く、全道よりやや低い状況で、T得点は50.4です。平成29年度は159.6センチメートルでした。女子152.76センチメートルで全国、全道より低く、T得点が46.0で、平成29年度157.01センチメートルでした。体重、男子は52.68キログラムで、全国、全道よりも重く、T得点が54.3です。平成29年度は48.60キログラムでした。女子46.07キログラムで全国、全道より軽く、T得点が49.3です。平成29年度、49.26キログラムでした。肥満傾向は、男子、20.0%が肥満傾向で高度肥満、痩せすぎはなしで、女子は5.0%が肥満傾向、高度肥満はなし、痩せすぎはなしです。朝食です。このアンケートの部分ですが、小学男子、食べない日もある、30.4%で、数字にしますと約7人ほどです。食べない4.3%で、1人いました。小学女子、食べない日もある、12.5%で、人数でいうと3人、食べない、4.2%で1人、中学男子、食べない日もある、2.7%、人数は1人です。食べないはゼロです。中学女子、食べない日もある、0%、食べないもゼロです。裏面をお開きください。実技、T得点での比較で、小学生、項目は8項目です。男子です、8項目中、握力、長座体前屈、立ち幅跳び、ソフトボール投げの4項目で全国を上回っています。上体起こし、反復横とび、20メートルシャトルラン、50メートル走の4項目で全国、全道より下です。体力合計点のT得点、50.4、全道は49.7で若干上回っています。平成29年度は56.4で高得点でした。女子8項目中20メートルシャトルランは全国より下、上体起こしは全国と同じで、握力、長座体前屈、反復横跳び、50メートル走、立ち幅跳び、ソフトボール投げの6項目で全国、全道を上回っています。体力合計点のT得点が55.3、全道49.6で大幅に上回って

います。平成29年度の町の数値は54.7でした。運動に対する意識です。運動が好き、男子73.9%で17人、女子45.8%で11人、運動がやや好き男子26.1%で6人、女子45.8%で11人、運動がやや嫌い、男子で0%、女子が4.2%で1人です。運動が嫌い、男子が0%、女子が4.2%、人数で1人です。運動部等への所属状況です、運動部、男子21.7%で5人、女子4.2%で1人、地域のスポーツクラブ、男子30.4%、女子29.2%です。入っていないが、男子56.5%で13人、女子70.8%で17人の状況です。中学生です。8項目あります。男子8項目中、握力、長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳びの4項目は全国を上回る。体力合計点のT得点、48.5で、全道49.6ですので、若干低いです。平成29年度、町は49.6です。女子8項目中、握力、長座体前屈、50メートル走の3項目は全国を上回る。上体起こし、反復横とび、20メートルシャトルランは全国より特に低い。体力合計点のT得点は43.8、全道46.9で相当低いです。平成29年度、町の47.5よりも下回っています。運動に対する意識です。運動が好き、男子75.7%で27人、女子45%で9人、運動がやや好き、男子10.8%で4人、女子30%で6人、運動がやや嫌い、男子13.5%で5人、女子が15%で3人、運動が嫌い、男子が0%で女子が10%で2人という状況。運動部等への所属状況、運動部、男子64.9%で23人、女子15%で3人、地域のスポーツクラブ、男子29.7%で11人、女子0です。文化部男子、10.8%で4人、女子、70%で14人、入っていない、男子、13.5%で5人、女子、15%で3人です。なおアンケート以外の状況はカラー刷りでお配りしている資料となりますので、後ほどご覧ください。以上です。

遠藤教育長

中学生男子が肥満傾向で20%です。これはどうかと思います。また小学生男子では、朝食を食べない日もあるが30.4%、小学生女子も、12.5%と、これは去年と比べても大きな数字なので学校と連携をとり対応したいと思います。それから表の1番下を見ていただくと、中学校2年女子の実技集計とありますが、1番左側下のT得点の表のグラフを見てみると、上体起こし、20メートルシャトルランは、町の数値が出てきていないです。

意見があればお受けしたいと思います。

岡本委員

男子生徒は割と体を動かすのが好きなので、休み時間も動きますけれども、女子生徒は一切しないのが多いです。数値が出てこないぐらいに体力が落ちているということはどうかと思います。

遠藤教育長

報告を受けたということで、この資料をもとに校長会等々と検討してみたいと思います。それでは、以上のとおり報告を受けたということで、ご了承をいただきました。

それでは、日程第5、議決事項に移ります。

日 程 第 5

【 議 決 事 項 】

11ページからになりますけれども議事に入る前に議案第5号、洞爺湖町教育

- ・議案第 5 号
- ・議案第 6 号

委員会部局の人事異動について、それから議案第 6 号、洞爺湖町立学校教職員の人事異動について、洞爺湖町教育委員会会議規則第 20 条第 1 項第 1 号の職員の人事に関する事に該当しますので非公開としたいと思いますが、ご異議ありませんか。

《「異議なし」という人あり》

非公開とさせていただきます。

議案第 5 号、第 6 号は非公開とします。

----- 非公開 -----

《議案第 5 号、洞爺湖町教育委員会部局の人事異動について 承認》

《議案第 6 号、洞爺湖町立学校教職員の人事異動について 承認》

----- 非公開終了 -----

- ・議案第 7 号

遠藤教育長

議案第 7 号、洞爺湖町教育委員会行政組織規則の一部改正についてを議題とします。事務局から説明をお願いします。

天野教育次長

議案第 7 号です。洞爺湖町教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則を次のように定めるものです。規則の改正理由は、平成 31 年度から新たに教育委員会事務局に次長職を置くとするものです。次長職を置くことができるように、関係規則等の所要の改正を行います。議案第 7 号、第 8 号、第 9 号は、同様の理由での改正です。それでは、14 ページの新旧対照表をご覧ください。第 7 条、「教育次長」でございますが、第 7 条の見出しの「教育次長」を「教育次長及び教育参与」、第 7 条第 1 項中「教育次長」を「教育次長及び教育参与」に改め、同条に 3 項として「教育参与は教育次長補佐し、事務局の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する」を加えるものです。前のページに戻っていただき、附則です。この規則は平成 31 年 4 月 1 日から施行するものです。以上でございます。

遠藤教育長

質疑をお受けしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

《「はい」という人あり》

提案のとおり可決することにご異議ありませんか。

《「異議なし」という人あり》

議案第 7 号、洞爺湖町教育委員会行政組織規則の一部改正については原案のとおり可決されました。

- ・議案第 8 号

議案第 8 号、洞爺湖町教育委員会職員の職名に関する規則の一部改正についてを議題とします。事務局から説明をお願いします。

天野教育次長

議案第 8 号です。洞爺湖町教育委員会職員の職名に関する規則の一部を改正する規則を次のように定めるものです。規則の改正理由は先ほど申し上げたので省略します。それでは 16 ページ、新旧対照表でご説明します。表の中の職種名に事務職員があります。部長職、課長職と上からありますが、左側の改正

案の職位名の部長職と課長職の間に次長職を追加し、職務名を教育参与とします。この1行を加えるもので、下線を引いています。15ページに戻り、附則です。この規則は平成31年4月1日から施行するものです。以上です。

遠藤教育長

質疑をお受けしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

《「はい」という人あり》

提案のとおり可決することにご異議ありませんか。

《「異議なし」という人あり》

議案第8号、洞爺湖町教育委員会職員の職名に関する規則の一部改正については原案のとおり可決されました。

・議案第9号

議案第9号、洞爺湖町教育委員会事務専決規程の一部改正についてを議題とします。事務局から説明をお願いします。

天野教育次長

議案第9号です。洞爺湖町教育委員会事務専決規程の一部を改正する訓令を次のように定めるものでございます。改正理由は省略します。それでは18ページ、新旧対照表でご説明します。第2条の定義の第2号中下線の引いた部分です。「、課長」を「、教育参与及び課長」に改め、第5条中見出し及び1項中の「教育次長」を「教育次長、教育参与」に改め、第7条の代決中第2項の「主務課長」を「教育参与」に改め、19ページの新旧対照表の右側にある第3項及び第4項を1項ずつ繰り下げ、第4項と第5項として、第2項の次に第3項とし、「3 教育参与が先決すべき事項について、教育参与が不在のときは、主務課長が代決する。」を1項加えます。17ページに戻りまして、附則です。この訓令は平成31年4月1日から施行するものです。以上です。

遠藤教育長

質疑をお受けしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

《「はい」という人あり》

提案のとおり可決することにご異議ありませんか。

《「異議なし」という人あり》

議案第9号、洞爺湖町教育委員会事務専決規程の一部改正については原案のとおり可決されました。

・議案第10号

20ページ、議案第10号、修学旅行の引率業務等に従事する町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部改正についてを議題とします。

事務局から説明をお願いします。

天野教育次長

議案第10号です。修学旅行の引率業務等に従事する町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部を改正する訓令を次のように定めるものです。改正の理由は、修学旅行の引率業務等に従事する町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領が北海道教育委員会で改正され、平成31年4月1日から施行される旨の通知に基づき、同様に所要の改正を行うものです。新旧対照表でご説明をしますので22ページ23ページをお開きください。第2定義

中、4の「又は「体育祭（運動会）等」を「、体育祭（運動会）等」又は「入学式・卒業式等」に改め、11の次に新たに12、13を2つ加えるものです。「12 この要領において、「児童又は生徒の引率業務」とは、自校の教育活動として、児童又は生徒を引率する業務のうち、本要領における「修学旅行の引率業務」及び「現場実習の引率業務」を除く業務をいう。」、「13 この要領において、「入学式・卒業式等の業務」とは、文部科学省が公示する学習指導要領に規定する儀式的行事と位置付けて行う行事の実施日に行う業務いう。」。それから、第3対象職員及び対象業務のうち2の（4）のうち、「又は体育祭（運動会）等」を「、又は体育祭（運動会）等又は入学式・卒業式等」に改め、（11）の次に、「（12）児童又は生徒の引率業務」、「（13）入学式・卒業式等の業務」の2つを加えるものです。「（12）児童又は生徒の引率業務」で、通知の中で説明がありましたのは、部活動で引率する場合が考えられると、「（13）入学式・卒業式等の業務」の「等」は、開校記念日に関する儀式の場合や始業式、終業式が考えられるようで、これらを含んだことが書いていました。21ページに戻っていただき附則です。この訓令は平成31年4月1日からの施行です。

遠藤教育長

この事前準備業務の中に入学式、卒業式等の準備状況が入ります。説明のありました部活動も割り振りをして先生たちにしっかり休んでもらいたいというのが趣旨です。今回、北海道教育委員会から通達が来ましたのでそれにあわせての改正です。ご理解ください。

質疑をお受けしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

《「はい」という人あり》

提案のとおり可決することにご異議ありませんか。

《「異議なし」という人あり》

議案第10号、修学旅行の引率業務等に従事する町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部改正については原案のとおり可決されました。

続きまして24ページになります。

議案第11号です。洞爺湖町就学援助費の支給に関する要綱の一部改正についてを議題とします。事務局から説明をお願いします。

天野教育次長

議案第11号です。洞爺湖町就学援助費の支給に関する要綱の一部を改正する訓令を次のように定めるものでございます。改正理由は、平成31年度より要保護児童生徒援助費制度、国の制度の改正に伴い、中学生の修学旅行費の単価の引き上げや新入学児童生徒の学用品費等の単価の引き上げもあります。あわせて新たに支給対象費目に卒業アルバム代等の追加があるので、これらの所要の改正を行うものです。あわせて準要保護者の認定について、自営業者などより多くの方を援助できるように判定基準をこれまでの収入金額から所得金額に改正をすること、保護基準額はこれまで生活保護基準額の1.3倍でしたが1.1倍とし、倍率は下がりますが、昨年度申請があり支給の対象とならない

・議案第11号

世帯について、収入から所得に変えて、さらに1.1倍として試算をしたところ、対象の世帯になるということで試算ができていますので、収入から所得にしても問題ないということで、今回改正の提案をするものです。新旧対照表でご説明します。27ページをお開きください。第4条、就学援助費の12号次に13号として「(13)卒業アルバム代等」を加えています。第7条、準要保護者の認定の第1項中「、「収入金額」から「生活保護法による基礎控除の限度額」を控除して得た額を「認定所得額」とし、当該「認定所得額」を、「所得金額」に改め、「1.30倍」を「1.10倍」に改めるものです。第8条は、資産の活用ということで、活用する資産があるときは、収入に加算するということですが、仮に何かを売買した場合であっても申告さえいただければ、申告書で所得を見ます。公簿の確認でわかりますので規定から削除すると、第9条、収入加算額についても実務的にはそこまでの確認はしないということです。あくまでも確定申告書や源泉徴収票による所得の確認を行いますので、第8条及び第9条は、今回の改正に合わせて削除するものです。第14条、就学援助費の支給の第1号中、「支給するものとする。」を「支給し、又、修学旅行費及び校外活動費は、就学援助費支給内訳(別記様式第12号)に基づきその都度、認定者に支給するものとする。」として、就学援助費の支給時期を特定するよう改正するものです。27ページの左下の同条第3号、(3)の下へ規定の追加です。第4号、「(4)PTA会費、生徒会費、クラブ活動費、卒業アルバム代等は、学校長より教育委員会が報告を受理した後、認定者から受給者の一切の権限を委任された学校長に直接支給するものとする。」と、これは認定者への支給ではなく、直接学校へ支払うことで、認定者及び学校の事務の軽減を図るためです。次に第4号(4)を第5号(5)とし、現行の第4号中「前第2号及び第3号」を「第2号から前号」へ改めるものです。これらの改正に合わせ、別記様式第1号から別記様式第3号までの様式の一部を改正しています。改正後の様式は、29ページから32ページの、収入を所得へ変更するなどの改正となり、載せている様式については改正後となりますのでご理解ください。25ページに戻り附則です。この訓令は平成31年4月1日から施行するものです。以上です。

遠藤教育長

説明が終わりました。

質疑をお受けしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

今まで卒業アルバム代は対象にしていませんでしたが、国は基準として新年度から加えることになりましたので、卒業アルバム代も就学援助費の対象にすると。判定の倍率を1.3倍から1.1倍にすると。これを収入から所得に直すことで収入であれば、例えば自営業者の方が1,000万の収入があったとしても必要経費を差し引けば所得がもっと低くなりますね。今までの基準ですと収入なので1,000万円もありますということになり、対象から外れることとなります。そのようなことがないようにできるだけ公平にということで所得で判定するというものです。近隣市町で所得で行っているのは、伊達市、豊

浦町、壮瞥町です。ご理解いただきたいと思います。

吉田委員

14条ですけれども。PTA会費、生徒会費、クラブ活動費とありますが、このクラブ活動費については幅広い捉え方ができるのかなと思います。どこまでがクラブ活動費になるのでしょうか。

天野教育次長

毎月の部費になります。そう高額ではないです。学校から聞いているのは部費だけです。

遠藤教育長

ほか質疑をお受けしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

《「はい」という人あり》

提案のとおり可決することにご異議ありませんか。

《「異議なし」という人あり》

議案第11号、洞爺湖町就学援助費の支給に関する要綱の一部改正については原案のとおり可決されました。

続きまして、33ページになります。

・議案第12号

議案第12号です。洞爺湖町洞爺地区等高校生通学費等助成に関する要綱の一部改正についてを議題とします。

事務局から説明をお願いします。

天野教育次長

議案第12号です。洞爺湖町洞爺地区等高校生通学費等助成に関する要綱の一部を改正する訓令を次のように定めるものがございます。改正理由は町全体の高校生の通学費と通学等に係る支援のあり方について、今後検討の上、方向を見出していくこととし、検討期間中は現行制度を継続することにしたため、平成31年3月31日をもって失効することにしてきた要綱の改正の必要が生じたことが1点、本年5月に元号が変わることに鑑みて別記様式中に「平成」を使っている部分がありますので、その箇所を削るといふことの2点が改正の理由です。それでは新旧対照表の34ページをお開きください。附則の3項の現行に「(要綱の失効)」として「この訓令は平成31年3月31日限り、その効力を失う。」としていまして、31日で効力を失うとしていまして、改正案ではこれを削るとしていまして、です。ですので効力がそのまま継続されるということ。ただし、いつまでというのはいま段階ではわかりませんので削るといふこと。それから前のページに戻っていただきまして、33ページです。別記様式になります、別記様式第1号(第5条関係)及び別記様式第5号(第8条関係)中、「平成年月日」とありますが、「平成」を削除し、「年月日」に改めるものです。これは、今後元号が変わったときに改正をしなくてもいいように「平成」を削除するものです。附則でございまして、この訓令は平成31年3月31日から施行するものです。以上です。

遠藤教育長

質疑をお受けしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

・議案第13号

《「はい」という人あり》

提案のとおり可決することにご異議ありませんか。

《「異議なし」という人あり》

議案第12号、洞爺湖町洞爺地区等高校生通学費等助成に関する要綱の一部改正については原案のとおり可決されました。

議案第13号です。洞爺湖町検定料助成金交付要領の制定についてを議題とします。事務局から説明をお願いします。

天野教育次長

議案第13号です。洞爺湖町検定料助成金交付要領を次のように定めるものがございます。制定の理由は、平成30年度から新たに町内中学校生徒を対象に英語検定及び漢字検定に係る検定料の助成を開始したところでございますけれども、学校により支払方法などの対応に相違があるので平成31年度からは、統一した対応とするために本要領を制定するものです。35ページの第1条、趣旨です。英語検定及び漢字検定の受検をする町内の中学生生徒に対し、検定料の助成を行うことに関し必要な事項を定めるとしてあります。第2条、助成対象者です。(1)町内の中学生生徒に対し一つ目は学校を会場とする場合、これは準会場ということで申し込みをした生徒の保護者、2号、(2)で1号、(1)以外を本会場となりますが、ここで検定を受けて検定料の支払をしたものの2つに分けています。それから第3条の助成額等で検定料の金額です。2項としまして、助成を行う回数は生徒1人につき英語検定、漢字検定それぞれ当該年度分1回の助成です。3項として、当該年度内に複数回受検する場合は、初回の受検を助成対象とすると、ということで統一してあります。第4条、助成金の交付申請等の委任は、生徒が在籍する学校長に委任すると、2項は、学校長は助成対象者から委任状をもらうということです。第5条の助成金交付申請等は、委任を受けた校長が教育委員会に交付申請書等をまとめて提出するという事です。36ページの2項としまして、本会場の学校以外で受検した場合は、教育委員会に直接申請いただくということです。第6条の交付決定について、決定した場合は、交付決定書で通知すること、第7条の交付決定取り消し等は、虚偽の申請があった場合は取り消すと、それから助成金を返還させるということ、第8条、助成の特例で、準会場の検定に限り、助成金の額を当該検定協会からの請求により委員会が直接当該検定協会に検定料を支払うということです。学校の負担の軽減が図られることの規定です。第9条の実績報告、終了後に学校長から検定の実績報告を受験結果等の明細をつけて、委員会へ提出していただくということです。第10条のその他、この要領に定めるもののほか、必要な事項は教育委員会が別に定めるとしてあります。別記様式が定められています。平成31年4月1日からの施行です。以上です。

遠藤教育長

説明が終わりました。平成30年度から実施していますが、学校によって対応がまちまちのようで、一部の学校では何回か受けるので、検定料を立て替えるようなこともあったようです。この制度は学校側で立て替えることは本来の

形ではないのかなと思います。初回の受検を対象にすることについては、学校によっては同じ人が複数受検したときに例えば2級と3級とでは受検料が違うので高い受検料を申請することがあるように聞いています。これを初回に限定ということにして、そのかわり学校で立て替えをしなくて済むように検定協会から直接教育委員会へ受検前に請求書をお願い教育委員会から払い込みをするという制度にしたいという内容です。効率化も図られます、学校側としても負担の軽減がされると思います。それにあわせてその学校で一緒に受検をしないで、個人で受検する方もいますので、その方については、保護者の方から直接教育委員会に申請してもらおうということです。質疑等があればお受けします。

吉田委員

さきほどお話がありましたけれど、せっかくの制度なので、できるだけたくさんのお生徒が受検できるシステムを作っていただいたから、いいことですね。

来栖委員

小学生も対象ですか。

遠藤教育長

小学生は今回入っていないです。今後できれば入れていきたいと思っています。平成30年度は、中学生全員分の予算を計上していただいたのですが、実際は20数%しか受検していないので、それであれば、小学生まで範囲を広げるとか、回数を1回だけではなくて2回にするとか、これからまた皆さんと協議をしながらと思います。これが本当に子供たちの学習意欲の向上につながってくればいいことなので。

他に質疑等ございませんか、よろしいでしょうか。

《「はい」という人あり》

提案のとおり可決することにご異議ありませんか。

《「異議なし」という人あり》

議案第13号、洞爺湖町検定料助成金交付要領の制定については原案のとおり可決されました。

・議案第14号

続きまして、43ページ、議案第14号です。虻田高等学校振興事業補助要綱の制定についてを議題とします。事務局の説明をお願いします。

天野教育次長

議案第14号です。虻田高等学校振興事業補助要綱を次のように定めるものです。制定の理由は、虻田高校の振興に資するために平成31年度から新たに入学時等支援金支給事業、制服購入費助成事業、通学費助成事業及び君の夢応援プロジェクト事業の補助事業を実施するにあたり、円滑な事業実施の推進をするため本要綱を制定するものです。虻田高校の未来づくり推進委員会からの提言を受けて予算化し、3月議会で認めていただきましたので、これらの補助をできる形を要綱で定めて、また、虻田高校の協力も得て、実施、制定するものです。第1条目的です。これは虻田学校の振興に資するため実施するものです。第2条、補助対象事業、これは4つあります。1つは、入学時等支援金支給事業、2つ目は制服購入費助成事業、3つ目は通学費助成事業、4つ目は、

君の夢応援プロジェクト事業と、この4つを助成の対象とするものです。第3条、補助金額、1つ目の入学時等支援金支給事業は、虻田高校へ入学、就学にあたり学校納付金等の一部を補助するもので入学初年度1人当たり10万円と、2年及び3年の進級時にそれぞれ5万円を補助するものです。ただし、生徒は当該年度の5月1日に在籍していることが補助対象の要件です。2つ目の制服購入費助成事業は、新入学時に学校が指定した制服の購入費用を生徒1人あたり5万円補助するものです。ただし、生徒は(1)の入学時等支援金支給事業と同じで、当該年度5月1日現在に在籍が要件です。(3)の通学費助成事業は、鉄道または路線バスで高校へ通学する生徒が購入する定期券の購入費用の2分の1の額を助成するものです。(4)君の夢応援プロジェクト事業は、生徒自身が企画する自らの夢に向かってチャレンジする事業について、高校の推薦決定に基づき、予算の範囲内で教育委員会が必要と認めた額を補助するものです。第4条、補助金の交付申請は、高校の校長が補助金の交付を受けるときは、事業ごと並びに生徒ごとに取りまとめ、申請書に必要な書類を添えて教育委員会に提出するものです。第5条、補助金の交付決定は、補助金交付申請を受理したときは交付決定をするものです。第6条、補助金の概算払いは、概算払いを受ける必要がある場合、校長先生から概算払いの請求書の提出していただくものです。基本的には、生徒の保護者と学校のやりとりで行うもので、学校の方に事務のお手伝いをいただくという形をとっています。第7条、実績報告は校長先生からいただくものです。第8条、交付決定取り消し等ということで虚偽の申請があった場合は取り消して補助金を返還してもらうということです。第9条、併給の禁止です。第2条第1項第1号及び第3号、この補助対象事業の入学時等支援金支給事業、通学費助成事業、これについては、洞爺湖町から別の助成がある場合は、いずれか1つの助成にするということで、入学時等支援金支給事業は、育英資金に入学時給付金があり、高校や専門学校及び大学などに進学する場合、5万円、10万円の給付金があります。これと同様の制度になりますので、どちらか1つを支給するという一方で、両方は支給しないということです。第3号の通学費助成についても、先ほど改正しました、洞爺湖町洞爺地区等通学費助成事業がこれと同じ制度になります。その対象者が両方とも該当する場合はどちらかを選んでくださいという形をとるもので、この要綱の中でこの併給の禁止ということを規定しています。第10条、その他は、この要綱に定めるその他必要な事項は教育委員会が別に定めるものです。附則です。施行期日 第1項はこの要綱は平成31年4月1日から施行するものです。2項は入学時等支援金支給事業に係る対象学年の経過措置で、第3条第1号で定めるに2年及び3年進級時における補助は、平成31年度入学生が進級する年度以降対象とするということで、平成31年度に入学した生徒以降をこの給付金の交付の対象とするということです。第3項、通学費助成事業に係る対象学年の経過措置です。第3条第3号に定める通学費助成は、平成31年度以降に入学する生徒を対象とするものです。45ページから50ページまでは、給付金の交付に係る申請書等の様式ですので説明を省略します。

以上です。

遠藤教育長

説明が終わりました。1枚ものの資料をご覧ください。上のほうは新たなものですということで、1つは入学支援金の助成で、対象は町内在住者です。一律10万円の支給です。5月1日現在の在籍者ということにしています。高校配置等の基準が5月1日で入学時の在籍者ではないです。5月までの間に退学ということも考えられますので、5月1日を基準としています。2年生、3年生になるときにも5万円ずつ支給しますと。ただし、洞爺湖町から別の助成がある場合は、これはどちらか一つにしますよと。制服購入費の助成は、これは町内外を問わず全員に、一律5万円を支給しますと。通学費用の助成は、公共交通機関のJRですとか公共のバスを使って通学の場合は、定期代の2分の1支給しますというものです。君の夢応援プロジェクトは1、2、3年生全員に、夢のために高校時代になってやりたいというものがあれば、その企画をプレゼンしてもらい、選考委員会をつくり、そこで認められれば30万円を限度に助成しますという制度です。下の方はこれまでの支援ということで書いています。これを虻田高校の入学式が4月8日に予定されていますので、入学式後にこの制度を保護者と生徒の皆さんに説明しようと思っています。この件に関して質疑をお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。

質疑等ございませんか、よろしいでしょうか。

《「はい」という人あり》

提案のとおり可決することにご異議ありませんか。

《「異議なし」という人あり》

議案第14号、虻田高等学校振興事業補助要綱の制定については原案のとおり可決されました。

・議案第15号

続きまして、49ページ、議案第15号です。虻田高等学校振興事業補助要綱（通学費助成事業）に係る細則の制定についてを議題とします。事務局の説明をお願いします。

天野教育次長

議案第15号です。虻田高等学校振興事業補助要綱（通学費助成事業）に係る細則を次のように定めるものです。これは通学費について先ほどの要綱だけでは、細かい部分が網羅されていないので、細部について定めるものです。第1条は、通学費の助成の細則に係る部分を定めるものです。第2条は、高校への通学手段として利用する鉄道及び路線バスの定期券に限り対象とするものです。例えば夏休みですと、部活動に行かない生徒は回数券を購入した方が安い場合があるのでそれは対象外ですよということで、あくまでも定期券の購入費用を対象にするということです。助成は購入額の2分の1の額で、要綱では2分の1以下のみとしています。この細則で10円未満切り捨てとしています。第3条は補助金を6月、9月、12月及び3月の4回で支給するというので、これは洞爺地区の通学費助成と同じになります。毎月ではありません。第4条は、保護者は別紙の虻田高等学校通学費助成事業申請書に次の書類を添えて、

学校長を經由して教育委員会へ提出してくださいということで、定期券の写し、2項として在学証明を添えて提出をしていただくことにしています。第5条は、教育委員会は申請の内容を確認し適当と認める場合は、保護者が指定する口座に振り込むことにしています。以上の内容の事務細則を定めたものです。附則です。この訓令は平成31年4月1日から施行するものです。様式は50ページでございます。以上です。

遠藤教育長

通学費については、他の助成と違い年に何回も出てくると思いますし、他の申請なども必要だと思いますので、この細則を定めるものです。

質疑等ございませんか、よろしいでしょうか。

《「はい」という人あり》

提案のとおり可決することにご異議ありませんか。

《「異議なし」という人あり》

議案第15号、虻田高等学校振興事業補助要綱（通学費助成事業）に係る細則の制定については原案のとおり可決されました。ここで追加議案についてお諮りしたいと思います。先ほどの就学援助要綱の改正に関連して、1件の議案の審議をしたいと思いますのご異議ありませんか。

《「異議なし」という人あり》

・ 議案第16号

追加議案を審議いたします。議案第16号です。洞爺湖町特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部改正についてを議題といたします。事務局から説明をお願いします。

天野教育次長

追加議案です。議案第16号です。洞爺湖町特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部を改正する訓令を次のように定めるものです。この改正は先ほど就学援助費の支給に関する要綱の改正をしましたが、就学援助と同様の支給項目が12項目あり、卒業アルバム代等を追加する改正内容です。それでは裏の2ページ、新旧対照表で説明します。12項目ありまして就学援助費と同じ項目になります。その次の13として「卒業アルバム代等」を追加するものです。1ページに戻っていただきまして附則です。この訓令は、平成31年4月1日から施行するものです。特別支援就学奨励費の要綱の趣旨は、学校教育法第8条の規定により、小学校又は中学校の特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するために特別支援教育就学奨励費を支給することとしていまして、必要な事項を定めるものです。就学援助費と同様に特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の負担を軽減するという内容で同様に定めるものです。支給項目も同じようにひとつ追加するという内容です。以上です。

遠藤教育長

説明が終わりました。質疑を受けたいと思います。

質疑等ございませんか、よろしいでしょうか。

《「はい」という人あり》

提案のとおり可決することにご異議ありませんか。

<p>日 程 第 6 【 そ の 他 】</p> <p>日 程 第 7 【 閉 会 】</p>	<p>《「異議なし」という人あり》 議案第16号、洞爺湖町特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部改正については原案のとおり可決されました。</p> <p>日程第6、その他です。 皆様方から何かありますか。 《「なし」という人あり》 事務局から何かありますか。 《「ありません」》 ないということですので、以上をもちまして、洞爺湖町教育委員会平成31年第2回定例会議を終了いたします。</p> <p>16：18 閉会</p>